

別記第2号様式

令和 7 年度
北海道高等学校 P T A 連合会「高校生と語るつどい」事業
実 施 報 告 書

令和 7 年 1 月 22 日

北海道高等学校 P T A 連合会 会長 様

北海道高等学校 P T A 連合会十勝支部
支部長 新村 裕司
(当番校名 北海道帯広柏葉高等学校)

本事業が、令和 年 月 日完了したので、次のとおり関係書類を添えて報告します。

記

1 事業実施概要

- (1) 期日 令和 7 年 1 月 6 日 (土曜日) 14 時から
令和 7 年 1 月 6 日 (土曜日) 16 時 30 分まで
- (2) 会場 北海道帯広柏葉高等学校 3 階 多目的教室
- (3) 実施形態
・ ワールドカフェ方式
・ 従来方式
- (4) 参加者等

ア 参加学校 8 校

(校名： 帯広柏葉、帯広三条、帯広緑陽、帯広工業、帯広農業、
帯広南商、芽室、更別農業)

イ 参加者総数 70 名

生徒数	引率数	保護者数	運営者数	その他	合計
35 名	10 名	18 名	6 名	1 名	70 名

(5) 事業内容

ア 事業の概要

テーマについて講師（中村真也 様）による基調講演を受講した後、
講師のファシリテートにより、高校生と保護者との混合グループ毎で
自由に対話し、意見をまとめ、全体で共有する。

イ 講師： 中村真也 氏

1972年12月20日 北海道 帯広市生まれ
北海道立帯広柏葉高等学校卒業後、東京電機大学へ
㈱バンダイに入社し、東京、大阪、名古屋を経験し
2003年 バンダイ上海、2006年 バンダイ香港、 2010年 バンダイ
台湾勤務。

台湾では台湾現地法人のトップ（総経理）として2014年まで5年間会社
経営を行った。計12年の海外任務を経て、バンダイ本社に戻り「おとな
女子プロジェクト」コスメチームの責任者として、セーラームーンやベ
ルばら等の人気コスメを輩出。また、資生堂マキアージュ&セーラーム
ーンのコラボを実現。

2017年6月に「nakaichi asia business」を開業
2019年4月に「一般社団法人 北海道プロデュース」を設立

～北海道十勝のモノ、トキ、ヒトで世界へ感動を～
を理念として十勝を中心に全国で地域のプロデュース活動を行っている。

- ウ テーマ： 「ビジョンマップで理想の学校を創ろう
～豊かな地域妄想ワークショップ～」
- ・ビジョンマップとは
 - ・全国の事例
 - ・十勝の具体的な事例を元に、ワークショップで
 - ・未来にあつたらいいなの学校を妄想して
 - ・アウトプット」

2 事業実施による成果

同じ学校ではなく、十勝管内の保護者、生徒らが集まり、それぞれが自分なりの意見を出し合い、且つ尊重しあいながらテーマに沿ったものを描き切り、アウトプット出来たことで、協力し合うことでの達成感や喜び、また全体共有を図ることで、他者の考えを学び得る事が出来た。短い時間ではあったが、それぞれのグループで、活発な意見が出されていましたから、一人ではなし得ない事が、人数が集まり真剣に取り組むことで数倍のパワーになり、目的達成に向けて進むことが出来るという認識を新たに持つことが出来た。併せて、コミュニケーション能力の向上にも繋がった。

3 今後の課題等

会を運営するに当たり、全員が面識がない中でグループ協議を行うわけであるが、グループによっては話が弾むまで、かなり時間が掛かるところもあった。こういうことから、グループ分けの人選は課題であると考える。また、講師の方が一人で進行していたことから、アシスタントのような方がいれば、もっとスムーズに進行していたと考える。

＜記入上の留意事項＞

- 1 「1(5) 内容」には、活動の内容を具体的に記載すること。
- 2 「2 事業実施による成果」には、当該事業により生徒・保護者・学校・地域・家庭等への期待される効果等について、詳細に記載すること。
- 3 「3 今後の課題等」には、来年度以降の実施にあたり、検討すべき課題等があれば具体的に記載すること。
- 4 本報告書には、開催要項・参加者名簿・写真等を添付すること。